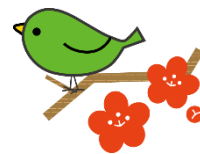




沢地小だより

11号 令和3年2月1日



春が近づいています！

令和2年度も残り2か月となりました。2月2日は「節分」、3日は「立春」。暦の上ではもう春です。新型コロナウイルスに打ち勝つ「春」もきっと近づいていると思います。

1月17日（日）に沢地小粋なおやじの会の皆様のご尽力により、「どんど焼き」を実施することが出来ました。お飾りや書き初めで作られたやぐらの中央の竹は、全長が18mにもなる真っ直ぐで立派な竹でした。今年度は新型コロナウイルスの影響で、お団子等を焼くことは控え、見学のみの実施となりましたが、やぐらの炎は天まで届くような勢いで燃えていました。この炎の勢いで、新型コロナウイルスを克服したいと思いました。

どんど焼きのような日本らしい伝統行事を、地域の方々に支えられながら毎年行うことが出来ることはとても幸せなことです。沢地小は本当に恵まれています。このような行事・光景を今後も沢地っ子に伝えていけたらいいなと思います。

開催に向けてご尽力いただいた、沢地小粋なおやじの会の皆様をはじめ、地域の皆さま、消防団の皆様にも、あらためて感謝申し上げます。ありがとうございました。



天に昇るやぐらの炎

G I G A スクール構想 始まります！

三島市では、これまでも「電子黒板」が全学級に配置されるなど、県内の市町の中でもICT環境は恵まれた状況にありました。現在、三島市を含め、全国の小中学校において「1人1台端末」を配布する準備が進んでいます。当初、国では令和5年度までの導入を目指していましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、令和2年度中の整備に向けてスケジュールが早まりました。

これは、従来の日本型教育を大切にしながらも、1人1台端末と高速大容量通信ネットワークを活用し、多様な子供たちに個別最適な教育を実現すること等を目的とした「G I G A スクール構想」(GIGA: Global and Innovation Gateway for All) に向けた条件整備です。

三島市では、端末に「i P a d」を選定し、2月中の全児童・生徒への配布を目指しています。各学校においては授業に先がけて教員の研修を行い、授業等において端末の効果的活な活用出来るように準備を進める予定です。授業等での活用は3月から徐々にスタートする予定です。

沢地小学校では、G I G A スクール構想におけるICT機器の効果的な活用を推進しながらも、今まで通り人との関わりを大切に「協働的な学び」を通して「心の教育」を推進していきます。

御理解・御協力をよろしくお願いいたします。

